

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

梱包部品一覧

表を参照のうえ、部品・部材の有無をご確認ください。また、表中の○印の番号は、本文中の取付図の番号と連動しています。

枠ユニット同梱部品一覧

■枠ユニット			
番号	①	②	③
姿図			
品名	皿木ねじ (φ3.5×25)	皿木ねじ (φ3.8×55)	ねじり釘
品番	WF-3525	WF-3855	K-6606A
個数	枠種によって異なります (個数はねじ袋に記載)		
備考	枠取付用		

丁番・ドアガードユニット・ドアクローザユニット部品一覧 ※別梱包品

■丁番・ドアガードユニット			
番号	④		
姿図			
品名	丁番ライナー		
品番	K-39173		
個数	JD-PD型23片開き	3	
	JD-PD型23親子	6	
	JD-PD型20片開き	2	
	JD-PD型20親子	4	
備考	調整が必要な場合使用		

■ドアクローザユニット			
ドアクローザセット			
品番	4K-13835	90°制限+バックチェック機能付	4K-13836
個数	1セット		
備考	標準	オプション	

組立・施工の前に…
商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書(ユーザーマニュアル)を施主様にお渡しください。

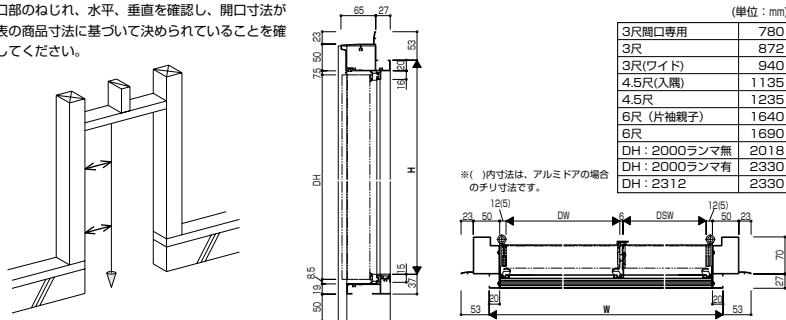
お願い

- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- 組立は所定のねじを使用し最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじのいないことを確認してください。
- 取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 玄関土間タイル施工後、タイルのクリーニング時に酸・アルカリ・塩素系の洗剤液は使用しないでください。下枠の腐食の原因になります。

ドア枠取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
ドア枠：2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度

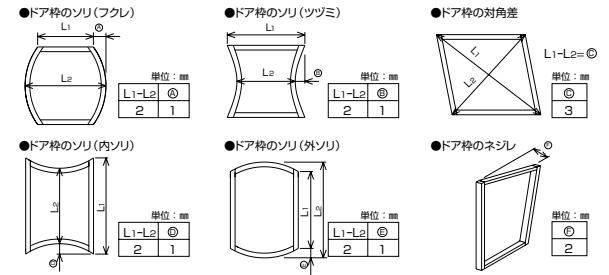
開口部の確認

開口部のねじれ、水平、垂直を確認し、開口寸法が右表の商品寸法に基づいて決められていることを確認してください。



ドア枠について

ドア枠取付時には、以下の寸法をお守りください。
性能・開閉に支障をきたす他、扉の吊込みに支障をきたすおそれがあります。



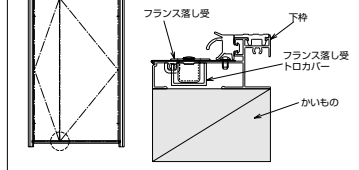
1. ドア枠の取付

オプション品の大型モールユニットや下枠幅木の取付けは、枠を開口部にはめ込む前に行ってください。躯体に固定後は、取付け出来ません。必ず梱包内の取扱説明書をご参照ください。

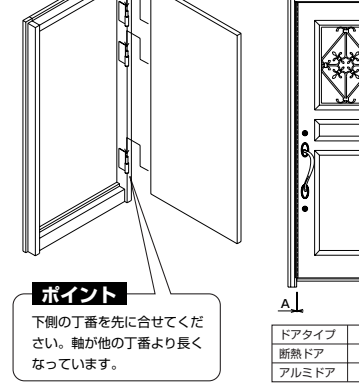
1 枠を開口部にはめ込んでください。

ポイント
縦枠は、下枠下端より50mm長くなっています。現場の納まりに合わせて切断してください。
※フラット枠は、あらかじめ50mmカットしてあります。

お願い
親子・両開き枠の場合は、枠取付作業前に下枠垂れ下がり防止対策として必ずフランス落し受トロカバー下位置に、かいものを敷いて下枠を受けてください。下枠幅木を取付けた場合は、下枠幅木も受けてください。



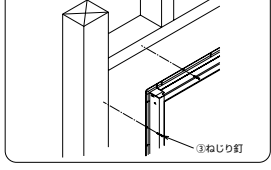
5 ドア本体を吊込んでください。
●ドア本体と枠の上下およびチリ寸法を調整してください。
※図の数字は、ドア枠と扉とのチリ寸法(mm)を表しています。



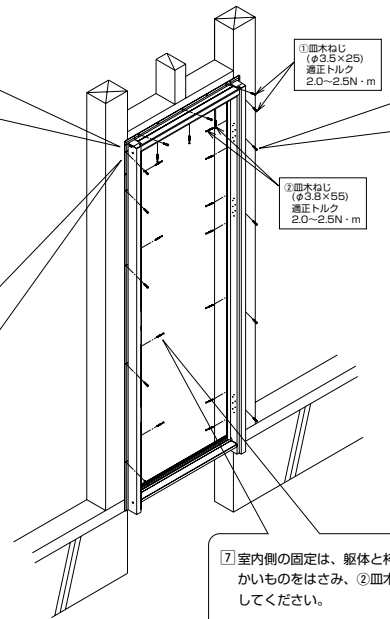
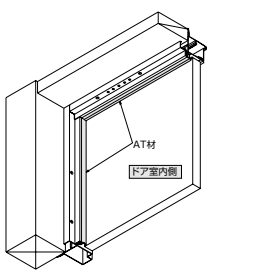
ポイント
下側の丁番を先に合せてください。軸が他の丁番より長くなっています。

2 枠を躯体に取付ける前に各取付穴を確認してください。

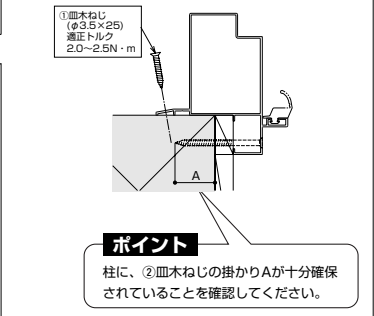
3 躯体と枠の水平・垂直・チリを確認のうえ、先に上枠両端部の長穴をねじり釘で仮固定してください。つぎに縦枠上部の長穴をねじり釘で仮固定してください。



●枠AT材が、ドア本体室内側に密着するように上枠および戸先側縦枠の出入りを調整してください。
※必要に応じて仮止めのねじり釘をはずしてください。

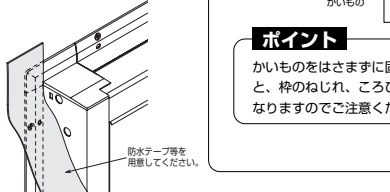


4 親扉吊元側の縦枠の垂直を確認し、縦枠の外側ヒシを①皿木ねじで固定してください。

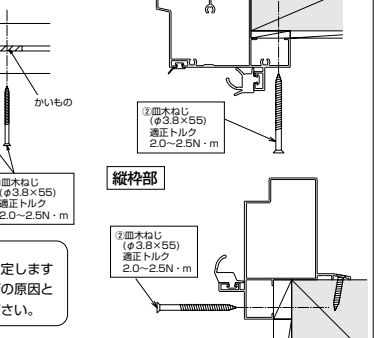


6 以上の事項を確認調整後、上・戸先側縦枠外側ヒシの残りの固定穴を①皿木ねじで固定してください。

お願い
枠固定後は必ず取付固定穴だけでなく、内側の長穴も確実に防水処理(防水テープ等)を行ってください。



7 室内側の固定は、躯体と枠のすき間にかいものをはさみ、②皿木ねじで固定してください。



2. ドアクローザの取付(電動ドライバー使用禁止)

ドア枠固定後、ドアクローザを取付けてください。
(ドアクローザユニット梱包内の取扱説明書をご覧ください。)

3. ラッチ調整 (電動ドライバー使用禁止)

● ロックやラッチボルトがかからない場合は、次の操作を行ってください。

調整板は、調整ねじを回すことで移動できます。1/8回転(45°)ごとに1mmさきみで調整可能です。

調整板は基準位置(工場出荷状態)より、室外側へ最大3mm、室内側へ最大1mmの調整が可能です。

ポイント
調整板は、調整ねじを同じ方向に回し続けた場合、調整範囲内で往復します。なお、調整は、最小限にしてください。調整時、ドアクローザの調整と併せて行ってください。(調整方法は、ドアクローザに同梱の取扱説明書をご覧ください。鎌錠受は、調整不要です。)

4. フランス落とし受の調整 (電動ドライバー使用禁止)

フランス落としは、取付ねじをゆるめることで室外側へ2mm調整できます。

※図は、フランス落とし受(下枠側)を示しています。上枠側も同様の調整を行ってください。

5. ドアガード受の調整 (電動ドライバー使用禁止)

ドアガード受は、収納式ですのでドアガードを使用しないときは、突起を押し込んでください。

ドアガードがかからない場合は、ドアガード受取付ねじをゆるめ、ドアガード受を上下調整してください。

6. 建付調整 (電動ドライバー使用禁止)

枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部で建付調整することができます。(丁番での調整は、あくまでも補足的なものであり、調整量には限界があります。)

① 左右方向の調整

アルミドアの場合

- ドア側の丁番取付ねじ(5本)および丁番スペーサ取付ねじをゆるめ、丁番スペーサを引抜いてください。
- 丁番スペーサを開き、折り曲げ線に沿って切り、元に戻して使用してください。
- 丁番を開き、折り曲げ線Aで切り離して使用すると1.5mm、折り曲げ線Bでは3mmドア本体が吊元側に寄りやす。

この部分は常に使用します。

折り曲げ線 A: 1.5mm, B: 3mm

丁番スペーサ

ポイント
ドア本体は、吊元側へ1.5mm, 3mmの2段階で調整できます。

- ラッチボルトが受けに届きにくい時は、丁番スペーサセット(オプション)BS-D-A101を使用してください。

断熱ドアの場合

- ドア側の丁番取付ねじ(5本)のうち、室内側の3本ははずしてください。
- 残りの室外側丁番取付ねじ(2本)および丁番スペーサ取付ねじをゆるめ、丁番スペーサを上方向へ引抜いてください。
- 丁番スペーサを開き、折り曲げ線で切り離して使用すると2mm、ドア本体が吊元側に寄りやす。また、丁番スペーサを使用しない場合は、4mm吊元側に寄りやす。

折り曲げ線

室外側丁番取付ねじ ゆるめる

室内側丁番取付ねじ 取りはずす

ポイント
ドア本体は、吊元側へ2mm, 4mmの2段階で調整できます。

- ラッチボルトが受けに届きにくい時は、丁番スペーサセット(オプション)BS-D-A102を使用してください。

② 上下方向の調整

③ 室外方向の調整

② 上下方向の調整

ドアを上方向に調整する場合
ドアを枠からはし、付属の丁番ライナーを丁番ピンに差込んでください。
ドアは、1mm上がりやす。

ドアを下方向に調整する場合
ドアを枠からはし、あらかじめ挿入してある丁番ライナーを丁番ピンから抜き取ってください。
ドアは、1mm下がりやす。

※丁番ライナーは、丁番ドアガードユニットに入っています。

③ 室外方向の調整

① 枠側の丁番裏板を止めているねじ(2本)をゆるめてください。

② 丁番取付ねじ(5本)をゆるめて調整を行ってください。

③ 調整後、ゆるめたねじを全て締め付けてください。

ポイント
ドア本体は、室外側へ0~3mmまで調整できます。

お願い
丁番裏板取付ねじと丁番取付ねじは、ゆるめるだけで、はずさないでください。扉が脱落する場合があります。

納まり参考図 縮尺 1/10 単位: mm

親子枠(D4仕様断熱ドア/アルミドア)

外観図 DH20, DH23

※()内寸法は、アルミドアを示します。

親子枠(D2・D3仕様断熱ドア)

外観図 DH20, DH23

※()内寸法は、アルミドアを示します。